

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	4	生活環境の整備
基本施策	3	地域美化・環境衛生
4年後のまち	①	環境美化の取組が進み、より一層きれいなまちになっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	環境美化の取組が進み、より一層きれいなまちになっている。			
回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	54	10.5%	11.3%	11.3
どちらかというと思う	212	41.1%	44.3%	33.2
どちらとも言えない	158	30.6%	33.0%	16.5
どちらかというと思わない	34	6.6%	7.1%	1.8
そう思わない	21	4.1%	4.4%	0.0
わからない	26	5.0%		
無回答	11	2.1%		
総数	516	100.0%		
有効回答数	479		100.0%	62.7
全設問の平均				62.7

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向						
1	不法投棄の回収件数(件)	不法投棄防止パトロールにて回収した廃棄物の件数。 市民や事業者に対する啓発とともに、不法投棄防止パトロールの推進により、平成25年度には集積所への不法投棄をなくし、平成30年度には道路上への不法投棄の回収件数の半減を目指します。							
			<table border="1"> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>228</td> <td>506</td> </tr> </table>	目指す値	実績値	H27	H27	228	506
			目指す値	実績値					
H27	H27								
228	506								
指標の把握方法(数値の出所) 不法投棄防止パトロール実績報告									
担当課	環境保全課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無> H27年4月からの家庭系ごみ有料化を踏まえ、不法投棄防止パトロールを充実したため、処理対応件数は増加したものの、処理量はH26の16,660tに比べて16,080tと僅かながら減少した。							
2	空き地等適正管理指導件数(件)	生駒市まちをきれいにする条例に基づき、空き地等の土地所有者に対し適正に管理するよう指導した件数で、「適正管理されていない空き地件数」の代替指標として設定。 空き地等の実態調査を通じ、雑草等が繁殖して生活環境を阻害している宅地を減らし、地域環境の美化向上を図ります。							
			<table border="1"> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>68</td> </tr> </table>	目指す値	実績値	H27	H27	70	68
			目指す値	実績値					
H27	H27								
70	68								
指標の把握方法(数値の出所) 空き地調査報告									
担当課	環境保全課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無>							

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	ごみのポイ捨てや不法投棄をしていない。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	337	65.3%	67.3%	67.3
取り組んでいる	108	20.9%	21.6%	16.2
少し取り組んでいる	38	7.4%	7.6%	3.8
あまり取り組んでいない	12	2.3%	2.4%	0.6
全く取り組んでいない	6	1.2%	1.2%	0.0
無回答	15	2.9%		
総数	516	100.0%		
有効回答数	501	100.0%		87.8

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	不法投棄禁止の啓発を行います。	ごみガイドブックによる啓発	ごみガイドブックに掲載し、全戸配布した。		環境保全課
①1	不法投棄禁止の啓発を行います。	ホームページでの啓発	市ホームページに掲載した。		環境保全課
①2	地域ぐるみで、生駒市まちをきれいにする条例に定められた事項を遵守するよう、環境美化推進員や地域の清掃活動等の環境美化活動を支援します。	地域の環境美化活動への支援	6月の環境月間等に自治会内での道路、水路、公園等の清掃活動を実施された自治会にごみ袋の配布や回収を行うなどの支援を行った。 ・H27自治会清掃回収：271件		環境保全課
①3	ペットの飼い方のルールやマナーなどについての啓発・情報提供を行い、わんわんアドバイザーや地域ねこ活動サポーターなどの動物愛護推進者を育成して、ペット公害の防止を図ります。	ペットに関するルールやマナーの啓発	・H27野良猫の避妊去勢手術補助：19件（オス24頭・メス42頭） ・飼い犬のしつけ方教室を実施した（参加者7名）。 ・犬の譲渡前講習会を実施した（参加者8名）。	地域ねこ活動サポーター設置要綱について、地域ねこ活動サポーターに対する規制が多いため見直す必要あり。（H28見直し）	環境保全課
①4	防犯カメラの設置や不法投棄防止パトロールによる監視体制の強化や、不法投棄された廃棄物の撤去を実施します。	不法投棄廃棄物の撤去	不法投棄防止パトロールを週2回実施し、506件、16,080tの不法投棄ごみを撤去・処理した。		環境保全課
①4	防犯カメラの設置や不法投棄防止パトロールによる監視体制の強化や、不法投棄された廃棄物の撤去を実施します。	防犯カメラの設置 【マニフェスト 77】	市内7カ所に防犯カメラを設置した。	今後、不法投棄多発地点を対象に設置を検討する必要があるが、維持管理等の問題から、補助制度の検討も必要。 カメラによる不法投棄の抑止効果も検証が必要。	環境保全課
①5	生駒市まちをきれいにする条例に基づき、環境美化に関する市民等のモラルの向上と美化思想の普及を図ります。	まちをきれいにする条例の適正な運用	・まちをきれいにする条例の啓発推進を行った。 ・環境美化推進員：285名 ・市内9駅でクリーンアップ作戦等を実施した。 7月・10月の2回実施 ・空き地等の適正管理指導件数：68件		環境保全課
①6	市営火葬場の適正な運営と維持管理を行います。	市営火葬場の運営・維持管理	定期的な点検や修理を行い、常に最良状態で使用できるように努めた。		環境保全課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	62.7	C	市民実感度が比較的高く市民の身近な環境への意識が年々向上しているため、一部のマナー違反が際立つ結果になっていると思われる。ごみの不法投棄や空き地の不適正管理は、社会経済情勢等の影響によることも多いと思われるが、きれいなまちを実現するためには、効果的な啓発を継続して実施することが重要であることから、不法投棄防止パトロールの監視強化のほか、市民や事業者とともに地道な取組を続けていきたい。
指標	いずれの指標も目標値に達していない		
市民の役割分担	87.8		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	



まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	4	生活環境の整備
基本施策	4	上水道
4年後のまち	①	安全で安心できる水道水を安定して供給している。
	②	健全で効率的な事業経営を継続している。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	安全で安心できる水道水を安定して供給している。				設問②	上水道について健全で効率的な事業経営を継続している。			
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	153	28.9%	31.5%	31.5	そう思う	46	8.6%	10.2%	10.2
どちらかというと思う	236	44.5%	48.7%	36.5	どちらかというと思う	188	35.2%	41.9%	31.4
どちらとも言えない	79	14.9%	16.3%	8.1	どちらとも言えない	135	25.3%	30.1%	15.0
どちらかというと思わない	13	2.5%	2.7%	0.7	どちらかというと思わない	44	8.2%	9.8%	2.4
そう思わない	4	0.8%	0.8%	0.0	そう思わない	36	6.7%	8.0%	0.0
わからない	26	4.9%			わからない	59	11.0%		
無回答	19	3.6%			無回答	26	4.9%		
総数	530	100.0%			総数	534	100.0%		
有効回答数	485		100.0%	76.9	有効回答数	449		100.0%	59.1
						全設問の平均		68.0	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	1人1日平均配水量(リットル)	市民1人当たりに換算した1日平均配水量。市民や事業者が、日頃から節水や水の有効利用を心がけることにより、無駄な水使用の減少を目指します。	<p>295 297 290 287 286 278 277 284 282 281 280 279</p>	H27	H27
				282	277
担当課	総務課(水道)	指標の把握方法(数値の出所)	1人1日平均配水量は、年度末の1日平均配水量を給水人口で除く。		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: □有 □無>		
2	水道の有効率(%)	年間総配水量に対する年間総有効水量(年間総配水量-漏水等により失われる水量)の割合。計画的な施設の更新や漏水防止対策を実施し、今後も高率の維持に努めます。	<p>98.5 98.1 97.5 98.0 97.8 98.9 98.2 98.0 98.0 98.0 98.0 98.0</p>	H27	H27
				98.0	98.2
担当課	工務課	指標の把握方法(数値の出所)	配水量分析表(上下水道部作成)による。		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: □有 □無>		
3	自己水割合(%)	年間総取水量に占める自己水(井戸取水)量の割合。良質、安価で湯水時においても安定的に利用できる地下水は、本市にとって重要な水源です。水位低下なく安定的に揚水できる量(適正な揚水量)を見極め、自己水の確保に努めます。※H30の自己水割合の減少は谷田浄水場廃止に伴うものである。	<p>35 34 36 37 38 39.7 39.8 38 38 39 40 36</p>	H27	H27
				38	39.8
担当課	浄水場	指標の把握方法(数値の出所)	平成27年度取水量・送水量・配水量及び給水人口の状況(上下水道部作成)による。		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: □有 □無>		

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	水の大切さを理解し、日頃から節水や水の有効利用を心がけている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	158	29.8%	31.7%	31.7
取り組んでいる	186	35.1%	37.3%	28.0
少し取り組んでいる	122	23.0%	24.4%	12.2
あまり取り組んでいない	26	4.9%	5.2%	1.3
全く取り組んでいない	7	1.3%	1.4%	0.0
無回答	31	5.8%		
総数	530	100.0%		
有効回答数	499		100.0%	73.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	水の大切さを理解し、節水や水の有効利用を心がけてもらえるよう広報・啓発活動を行います。	生水だよりによる啓発	生水だよりを2回（6月15日号、1月合併号）発行し、節水や水の有効利用を啓発した。		総務課（水道）
①2	給水装置、貯水槽水道や専用水道の適正な管理を行ってもらえるよう指導、助言等を行います。	給水装置等適正管理事業	656ヶ所の貯水槽水道設置者に対し水質安全確保促進の依頼文を発送した。また、3ヶ所の専用水道の立入調査を行った。		工務課
①3	直結給水の範囲を拡大します。	直結直圧給水事業の推進	14件（新設4件、改造10件）竣工した。		工務課
①4	拠点施設や管路の耐震化を行います。	ライフライン機能強化事業	耐震管で管路更新工事を延長4.12km施工した。		工務課
①4	拠点施設や管路の耐震化を行います。	滝寺送水ルート変更事業	浄水場施工の滝寺中継所建設工事に管路の耐震化を含めて発注・完成した。		工務課
①4	拠点施設や管路の耐震化を行います。	滝寺送水ルート変更事業	H28年3月16日滝寺中継所が完成した。		浄水場
①5	水質向上のため、浄水施設の改良を行います。	真弓浄水場薬品注入設備等改良工事		H26費用対効果を考え、事業中止を決定	浄水場
①6	安定した水道水の供給が行えるよう、自己水（井戸取水）の適正揚水量を維持します。	取水井戸浚渫工事	適正揚水量を確保し、効率的な井戸の浚渫工事などを実施した。 ・7井の浚渫工事実施 ・2井のポンプ取替工事実施 →自己水割合：39.8%		浄水場
②1	経費の節減に取り組むとともに、収入確保などにつながる取組として、水飲み場や給水スポットなどの整備により水道水の利用を促進します。	生駒の水PR事業	・水飲み場：新たに2箇所（図書館・南コミ）設置（計6箇所） ・給水スポット：新たに9店舗の協力（計15店舗） ・給水機の貸出：延べ27台 ・イベントでのPR：どんどこまつりで「利き水コーナー」を出展		総務課（水道）
②2	水の有効利用等のため、漏水調査の強化や老朽管の更新を行います。	漏水防止対策事業	3方法の漏水調査を実施し計52ヶ所の漏水を発見・修理を行った。		工務課
②3	水道施設整備計画の円滑かつ確実な実施を図ります。	真弓浄水場電気設備改良工事	現場操作盤と自家発電機の工場製作を完了し、既存の受電設備を撤去して、新しい受電設備を設置した。		浄水場
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	滝寺送水ルート変更事業【マニフェスト 112】	浄水場施工の滝寺中継所建設工事に管路の耐震化を含めて発注・完成した。		工務課

②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	滝寺送水ルート変更事業【マニフェスト 112】	H28年3月16日滝寺中継所が完成した。		浄水場
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	稲倉送水ルート変更事業【マニフェスト 111】	稲倉送水方法等について、県営水道と協議した。		工務課
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	稲倉送水ルート変更事業【マニフェスト 111】	稲倉送水方法等について、県営水道と協議した。		浄水場
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	小瀬送水ルート変更事業【マニフェスト 111】	H28県営水道施工の工事着手に向け、具体的協議・地元調整を行った。		総務課(水道)
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	小瀬送水ルート変更事業【マニフェスト 111】	H28県営水道施工の工事着手に向け、具体的協議・地元調整を行った。		工務課
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	小瀬送水ルート変更事業【マニフェスト 111】	H27年6月3日：新小瀬中継所建設工事に係る測量を完了 H27年6月23日：地質調査完了 H27年8月31日：基本設計完了 H27年11月4日：実施設計契約・着手		浄水場
②5	再生可能エネルギーの利活用を行います。	山崎浄水場小水力発電施設運用	山崎浄水場小水力発電施設を適正に管理し、発電能力(40kWh)を確保した。 ・年間発電量:362,021kWh		浄水場

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	68.0	B	本市では、水道水源の保全に努め、適切な水質管理を行うことにより、市民に安心して使っていただける安全でおいしい水道水の供給を目指している。また、平常時とはもとより、災害時においても市民への影響をできるだけ少なくするために、水道施設の耐震化や緊急時の体制強化を図り、事故や災害に強い水道施設の構築を目指している。 これらの取組により水質事故や管路事故等を防いでいるため、7割程度の市民に水道水の安全性や安定供給については実感していただいている。事業経営においてもコスト削減、維持管理の効率化等の経営努力を積極的に進めているため、これらをPRし、今後も市民に信頼される水道を目指していきたい。 また、環境思考の高まり、継続的な広報・啓発活動の結果が節水意識の向上に繋がっていると考えている。市民の高い節水意識を維持・向上できるよう、今後も広報・啓発活動を続ける。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	73.1		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	





まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	5	緑・水環境の保全と創出
基本施策	1	自然的資源
4年後のまち	①	豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている。
	②	市民・事業者・行政が協働して、周辺の山並みなど自然環境を後世に残していくための取組が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている。					設問② 市民・事業者・行政が協働して、周辺の山並みなど自然環境を後世に残していくための取組が進んでいる。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	62	12.0%	12.9%	12.9	そう思う	48	9.1%	11.0%	11.0
どちらかというと思う	233	45.2%	48.6%	36.5	どちらかというと思う	152	28.7%	34.9%	26.2
どちらとも言えない	134	26.0%	28.0%	14.0	どちらとも言えない	165	31.1%	37.9%	19.0
どちらかというと思わない	32	6.2%	6.7%	1.7	どちらかというと思わない	38	7.2%	8.7%	2.2
そう思わない	18	3.5%	3.8%	0.0	そう思わない	32	6.0%	7.4%	0.0
わからない	24	4.7%			わからない	76	14.3%		
無回答	13	2.5%			無回答	19	3.6%		
総数	516	100.0%			総数	530	100.0%		
有効回答数	479		100.0%	65.1	有効回答数	435		100.0%	58.4
全設問の平均							61.7		

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値			
1	緑地の確保面積の割合(%) [上]市全域 [下]市街化区域	市全域及び市街化区域面積に対する緑地面積の割合。 公共施設緑地に加えて、緑の保全制度の創設等により、将来においても担保性のある緑地の確保を目指します。	<p>[上]市全域 [下]市街化区域</p>	H27	H27			
				<table border="1"> <tr> <td>市全域</td> <td>48.55</td> <td>市全域</td> <td>48.6</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>21.91</td> <td>市街化区域</td> <td>21.7</td> </tr> </table> <p>指標の把握方法(数値の出所)</p> <p>都市公園等実態調査</p>	市全域	48.55	市全域	48.6
市全域	48.55	市全域	48.6					
市街化区域	21.91	市街化区域	21.7					
担当課	みどり公園課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<p>&lt;外的要因の有無: ■有 □無&gt; 法令に基づく区域指定が無かったため、地域性緑地の伸びが少なかった。</p>					
2	緑の保全活動件数(件)	市民が主体となって緑の保全・再生活動をしている件数。 緑地等の保全・再生活動を支援し、花と緑と自然のまちづくりの推進を目指します。		H27	H27			
				<table border="1"> <tr> <td>目指す値</td> <td>8</td> <td>実績値</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>指標の把握方法(数値の出所)</p> <p>「緑の保全活動件数」及び「花と緑の活動件数」</p>	目指す値	8	実績値	9
目指す値	8	実績値	9					
担当課	みどり公園課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<p>&lt;外的要因の有無: □有 □無&gt;</p>					

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	自然環境に対し関心、意識を持ち保全活動や清掃活動を行っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	116	21.7%	23.1%	23.1
取り組んでいる	116	21.7%	23.1%	17.3
少し取り組んでいる	165	30.9%	32.9%	16.4
あまり取り組んでいない	65	12.2%	12.9%	3.2
全く取り組んでいない	40	7.5%	8.0%	0.0
無回答	32	6.0%		
総数	534	100.0%		
有効回答数	502		100.0%	60.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	市民が身近に自然的資源にふれあえるよう、矢田丘陵遊歩道やハイキングコース、くろんどの森などのPRに努めます。	ハイキングマップの作成	ハイキングマップを配布するほか、市内を訪れる観光客及び市民が手軽に使用できる観光ガイドブック（日本語、英語、中国語の3ヶ国語対応）を作成し、観光協会等を通じ、広くPRした。		経済振興課
①1	市民が身近に自然的資源にふれあえるよう、矢田丘陵遊歩道やハイキングコース、くろんどの森などのPRに努めます。	観光協会ホームページでPR	観光協会と連携し、観光地やイベント、給水スポットを追加したハイキングコース等を観光協会のホームページで紹介した。		経済振興課
①2	市内の自然環境や生態系に関する情報の提供を行います。	市内環境測定結果の公表	・環境白書「生駒市の環境」を作成・発行するとともに、市ホームページに掲載し、大気、水質、騒音等の状況について周知を図った。 ・生駒に生息する動植物の調査結果を市ホームページ等で公表している。		環境保全課
②1	景観法の規定に基づく「景観行政団体」として、市民や事業者などとともに、緑豊かな自然環境と調和する景観の保全・創出を図ります。	景観まちづくり相談	毎月1回景観まちづくり相談を実施し、市民や事業者、設計者が景観アドバイザーから直接建物の意匠・色彩、外構の植樹などについて相談できる窓口を開設した。 ・H27:11回、15件相談		みどり公園課
②2	市民や土地所有者等の理解を得られるような緑の保全制度を創設するとともに、自然体験型レクリエーションや環境学習の場としての活用に取り組みます。	市民の森事業の実施【マニフェスト 63】	ワークショップ終了後および市による整備工事後も引き続き、月に1回地域住民による手づくりの森づくりを進め、5月にはオープニングセレモニーを実施した。現在も月1回の活動を継続し、一般開放をしている。	事業地を選定するにあたり、樹林地の所有者と一定期間の契約を条件とするため、売買が自由にできないという制限等があり、所有者の協力なくしては成り立たない点と、また樹林地がまちなかにあり、利活用が図れ、アクセスの容易な場所等の立地条件も加わるため、事業選定が難しい。	みどり公園課
②3	樹林保全活動を行う市民やボランティア等の育成に取り組みます。	花とみどりの楽校の実施	花や緑に対する市民の関心を高め、意識を向上させることを目的に、「花とみどりの楽校（がっこう）」の名前で「花と緑のボランティア講座をH21から実施している。H27は、誰もが受講しやすい実習や体験に重点を置き、「花とみどりの楽校（気づき編）」として全5回の単発講座を実施した。	H27からは、年間を通じての連続講座を1回完結型の講座に変更し、講座内容を受講しやすい実習や体験に重点を置いたものにして対象となる年齢層を広げている。H28は、講座開催時に「花とみどりのボランティア講座」のパネルを設置するなどPR方法を工夫する。	みどり公園課
②4	市民・事業者・市民団体との協働による河川美化活動などの定着を図ります。	河川美化活動の促進	竜田川沿いの河川堤、川底及び河川管理道部分の美化清掃、竜田クリーンキャンペーンを実施し、河川愛護意識の高揚を図った。		環境保全課
②5	里山の維持・再生や市街化区域内の樹林の保全・活用など、緑を保全するための仕組みづくりに取り組みます。	樹林地バンク制度の活用	手入れ希望の樹林地（山林）所有者と樹林地の保全活動グループを仲介し良好な緑の保全を行った。 H27の仲介件数：1件 H23:1カ所仲介 H24:1カ所仲介		みどり公園課
②6	里山林の保全、整備及び活用を図るため、里山整備活動を行うNPOなどの団体を支援します。	地域で育む里山づくり事業	奈良県森林環境税による里山づくり助成事業を利用し、里山の保全、整備及び活用の促進を図るため、里山林整備を行う団体に対し、予算の範囲内において助成金を交付した。 ・H27:3団体		みどり公園課

②7	環境教育を目的としたイベントなどを行う市民等を支援します。	環境教育イベント支援事業	夏休みの1日を森の中で過ごすことで自然環境を考えるきっかけづくりをすることを目的として、小・中学生を対象に市内ボランティア団体の協力のもとイベントを実施した。 ・H27:1回	みどり公園課
②8	環境保全意識の高揚と環境教育を推進するため、ボランティアとの協働により自然環境調査を実施します。	自然環境調査の実施	市民・行政・事業者の協働の組織、環境基本計画推進会議「通称 ECO-net生駒」でツバメ、トンボ、水鳥の自然観察会を行ったほか、環境省の生態系観測(モニタリングサイト)に参加し里地の生物調査を実施した。	環境モデル都市推進課・環境保全課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	61.7	B	市民の実感度は61.7%、市民の役割分担は60.1%の評価を得ており、一定程度取り組みがなされている。 行政の4年間の主な取組については、各事業ごとに設定した目標水準を概ね達成し、水準を満たした事業の多くが予定目標を上回る結果となった。 以上から、各々の進捗度を左のように判断した。分野全体としては、それぞれ設定した取組目標を概ね達成できており、4年後のまちが順調に実現されていると判断した。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	60.1		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	



まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	5	緑・水環境の保全と創出
基本施策	2	公園・緑化
4年後のまち	①	公園がレクリエーションや憩いの場として安心して利用されている。
	②	花と緑であふれるまちに向けて、着実に取組が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 公園がレクリエーションや憩いの場として安心して利用されている。					設問② 花と緑であふれるまちに向けて、着実に取組が進んでいる。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	48	9.0%	10.3%	10.3	そう思う	63	12.2%	13.3%	13.3
どちらかというとそう思う	157	29.4%	33.6%	25.2	どちらかというとそう思う	207	40.1%	43.7%	32.8
どちらとも言えない	165	30.9%	35.3%	17.7	どちらとも言えない	156	30.2%	32.9%	16.5
どちらかというとそう思わない	57	10.7%	12.2%	3.1	どちらかというとそう思わない	33	6.4%	7.0%	1.7
そう思わない	40	7.5%	8.6%	0.0	そう思わない	15	2.9%	3.2%	0.0
わからない	43	8.1%			わからない	29	5.6%		
無回答	24	4.5%			無回答	13	2.5%		
総数	534	100.0%			総数	516	100.0%		
有効回答数	467		100.0%	56.2	有効回答数	474		100.0%	64.2
全設問の平均								60.2	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値																						
1	バリアフリー化を行った公園件数[累計](箇所)	<p>楽々アプローチ事業として、公園の出入り口の段差の解消やスロープ化、階段の手摺りの設置、車止めの改修等を行った件数。                      幼児や高齢者、障がいを持った方が車椅子、ベビーカー等で誰もが安心して公園利用できるように計画的に整備を行います。</p>	<table border="1"> <caption>バリアフリー化を行った公園件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>29</td></tr> <tr><td>H22</td><td>32</td></tr> <tr><td>H23</td><td>37</td></tr> <tr><td>H24</td><td>41</td></tr> <tr><td>H25</td><td>46</td></tr> <tr><td>H26</td><td>49</td></tr> <tr><td>H27</td><td>52</td></tr> <tr><td>H28</td><td>55</td></tr> <tr><td>H29</td><td>58</td></tr> <tr><td>H30</td><td>61</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H21	29	H22	32	H23	37	H24	41	H25	46	H26	49	H27	52	H28	55	H29	58	H30	61	目指す値	H27
				年度	実績値																						
H21	29																										
H22	32																										
H23	37																										
H24	41																										
H25	46																										
H26	49																										
H27	52																										
H28	55																										
H29	58																										
H30	61																										
実績値	52																										
担当課	みどり公園課		指標の把握方法(数値の出所)	楽々アプローチ事業を行った実数																							
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>																								
2	花と緑の活動件数(件)	<p>市民が主体となって花や緑に関する活動をしている件数。                      市内の街区公園・近隣公園・地区公園等を市民の緑化活動の場として提供し、花と緑と自然のまちづくりの推進を目指します。</p>	<table border="1"> <caption>花と緑の活動件数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>291</td></tr> <tr><td>H22</td><td>305</td></tr> <tr><td>H23</td><td>309</td></tr> <tr><td>H24</td><td>311</td></tr> <tr><td>H25</td><td>315</td></tr> <tr><td>H26</td><td>321</td></tr> <tr><td>H27</td><td>333</td></tr> <tr><td>H28</td><td>315</td></tr> <tr><td>H29</td><td>316</td></tr> <tr><td>H30</td><td>317</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H21	291	H22	305	H23	309	H24	311	H25	315	H26	321	H27	333	H28	315	H29	316	H30	317	目指す値	H27
				年度	実績値																						
H21	291																										
H22	305																										
H23	309																										
H24	311																										
H25	315																										
H26	321																										
H27	333																										
H28	315																										
H29	316																										
H30	317																										
実績値	317																										
担当課	みどり公園課		指標の把握方法(数値の出所)	「緑の保全活動件数」及び「花と緑の活動件数」																							
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>																								

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	庭先や窓辺に植栽などの緑化を行っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	205	39.7%	41.0%	41.0
取り組んでいる	130	25.2%	26.0%	19.5
少し取り組んでいる	97	18.8%	19.4%	9.7
あまり取り組んでいない	38	7.4%	7.6%	1.9
全く取り組んでいない	30	5.8%	6.0%	0.0
無回答	16	3.1%		
総数	516	100.0%		
有効回答数	500	100.0%		72.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	地域住民がルール・マナーを守った利用をし、自分たちで管理できるよう支援を行います。	自治会公園維持管理委託事業	市内街区公園は自治会と委託契約を締結し除草、清掃及び遊具の点検等を実施した。	各地区とも高齢化が進み、今後委託を解消希望する自治会が増加傾向にある。	みどり公園課
①2	安心して公園を利用できるよう公園施設のバリアフリー化を計画的に行うとともに、遊具等の施設の点検を行うなど、適正な公園管理を実施します。	楽々アプローチ事業	幼児や高齢者、障がいを持った方が車椅子、ベビーカー等で誰もが安心して公園利用できるように、公園の出入り口の段差の解消やスロープ化、階段の手摺りの設置、車止めの改修等を年次計画に基づき実施した。	地形上段差の解消等が出来ない公園が存在する。	みどり公園課
①3	住民と協働で地域のニーズに合った公園を再整備します。	コミュニティパーク事業	H26は秋の台住宅地自治会にある秋の台第2公園を対象とし、4回のワークショップを通じて地域住民の想いを引き出し、リニューアル計画を作成した。 H27には地域住民との作業ワークショップ、市発注の工事により整備を実施した。	地域住民の温度差を解消すること。完成後の公園を継続的に維持管理していくための体制作り。	みどり公園課
①4	社会福祉法人及び企業と連携し、生駒山麓公園にレストラン、売店などを新設して活性化します。	山麓公園活性化事業	H26の生駒山麓公園ふれあいセンターの改修工事に引き続き、H27には浴場等を含めた改修工事を実施した。H28も引き続き改修工事を実施する予定である。		みどり公園課
②1	緑の大切さを啓発し、市民や事業者が緑の創出に取り組めるよう努めます。	緑化推進事業	花や緑に対する市民の関心を高め、意識を向上させることを目的に、「花とみどりの楽校(がっこう)」の名前で「花と緑のボランティア講座」をH21から実施している。 H29開催予定		みどり公園課
②2	緑の市民懇話会や花好き・自然好き市民交流サロンなど、地域住民と行政がともに花や緑に関連したまちづくりについて話し合える場・機会を設けるなどの支援を行います。	緑の市民懇話会、花好き・自然好き市民交流サロン	緑の保全及び創造する施策に対し、意見又は助言を求めた。 ・緑の市民懇話会H27:3回開催  花好き・自然好き市民のネットワークをより一層拡げることが目的にH18に開設した。 ・花好き・自然好き市民交流サロンH27:6回開催		みどり公園課
②2	緑の市民懇話会や花好き・自然好き市民交流サロンなど、地域住民と行政がともに花や緑に関連したまちづくりについて話し合える場・機会を設けるなどの支援を行います。	「ふろーらむ」喫茶コーナー設置	新たな来場者を増やし、花と緑のまちづくりへのきっかけ作りができる「ふれあいスペース」として喫茶スペースを設けている。 ・運営はボランティア主体		みどり公園課
②3	「生駒市みどりの基金」をPRするとともに、寄附金を募ります。	生駒市みどりの基金	緑の保全及び創造する施策を実施するため、H19から施行している。広報紙、市ホームページ等に承諾いただいた方の氏名を掲載するとともに、イベント等での募金活動を実施した。 H27:214千円(個人1、団体5、その他募金)		みどり公園課
②4	市民などが「生垣助成制度」や「花と緑のわがまちづくり助成制度」を活用することにより、まちなかの緑の創出を図り、花と緑のまちづくりを推進します。	生垣助成制度、花と緑のわがまちづくり助成制度	生垣助成や花と緑のわがまちづくり助成を引き続き実施し、魅力的な都市環境を創造する。なお、花と緑のわがまちづくり助成制度(H25の生駒市行政改革推進委員会の提言を踏まえ、支援のあり方を検討する。 H27:生垣助成5件、花と緑のわがまちづくり助成105団体		みどり公園課

②5	「花と緑の景観まちづくりコンテスト」で、多くの人々の目にふれる場所での緑化事例を顕彰します。	花と緑の景観まちづくりコンテスト	花と緑につつまれた美しいまちとなるよう、年間を通じての維持・管理の状況、デザイン性やまちなみとの調和、地域での取り組み方や取り組みの広がりなどを審査基準として、特に優秀な事例を選考し、表彰する。 H27:28グループが応募		みどり公園課
②6	開発等における緑化基準を適切に運用します。	開発行為指導	指導要綱等に係る緑化基準として、事業者が1区画の敷地面積が1,000㎡以上の開発行為等を行う場合、用途地区に応じて緑化を行うことで、事業者による緑化の効果・役割等の必要性も併せて理解してもらえるように指導する。 H27:5件	基準にある数値をクリアするための植栽ではなく、植え方によって空間に奥行きが広がるなど与える印象が異なってくる点などを事業者との協議を何回も重ね、理解を得る必要がある。	みどり公園課
②7	管理経費の削減及び落葉問題等を解決するため、地元と調整を図りながら街路樹の更新を行います。	街路樹更新事業 【マニフェスト 62】	H26、27にあすか野南中央線の一部にて街路樹の更新を実施済みである。引き続きH28、29の計4ヵ年実施する予定である。		みどり公園課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	60.2	B	全ての指標が目標値を達成し、市民の実感度はどの設問も50点を上回っていることから一定程度取り組まれている。行政の4年間の主な取り組みについては、進捗上の課題があるものの、全体として概ね計画通り順調に進捗しており、進捗度をBと判断した。 一部の自治会からは公園維持管理委託の解消を望む声も聞こえるが、反対に新たに公園維持管理委託を締結して頂ける自治会もあり、自分たちの手で自分たちの公園を維持管理しようという意識が感じられる。特にコミュニティパーク事業を実施した自治会で住民の取組意識が高まっている様子が感じられる。楽々アプローチ事業も年次計画に基づき順調に進んでおり、4年後のまちは概ね実現していると判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	72.1		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちは十分に実現されている B:4年後のまちは概ね実現されている C:4年後のまちはある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	





まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	1	学研都市との連携
基本施策	1	学研都市
4年後のまち	①	学研都市に立地している奈良先端科学技術大学院大学や民間企業との地域交流が盛んに行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	学研都市に立地している奈良先端科学技術大学院大学や民間企業との地域交流が盛んに行われている。			
回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	23	4.3%	6.2%	6.2
どちらかというと思う	118	22.3%	32.0%	24.0
どちらとも言えない	146	27.5%	39.6%	19.8
どちらかというと思うわない	47	8.9%	12.7%	3.2
そう思わない	35	6.6%	9.5%	0.0
わからない	141	26.6%		
無回答	20	3.8%		
総数	530	100.0%		
有効回答数	369		100.0%	53.2
全設問の平均				53.2

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	高山サイエンスタウンフェスティバルの来場者数(人)	毎年開催している「高山サイエンスタウンフェスティバル(サイエンスプラザ)」への来場者数。来場者の増加により、学研都市高山地区に立地する施設への関心が高まることで、施設と地域との交流促進を目指します。		
担当課	いこまの魅力創造課		目指す値	実績値
			H27	H27
			4,800	4,740
			指標の把握方法(数値の出所)	
			(公財)関西文化学術研究都市推進機構	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

3 市民の役割分担(市民1人でできること)

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなど、イベントに参加・協力している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	9	1.7%	1.8%	1.8
取り組んでいる	29	5.5%	5.9%	4.4
少し取り組んでいる	66	12.5%	13.3%	6.7
あまり取り組んでいない	113	21.3%	22.8%	5.7
全く取り組んでいない	278	52.5%	56.2%	0.0
無回答	35	6.6%		
総数	530	100.0%		
有効回答数	495		100.0%	18.6

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	奈良先端科学技術大学院大学と連携して行っている学校教育事業等の継続・充実を図ります。	奈良先端科学技術大学院大学の研究者による特別授業	中学校2校が先端大で特別授業を受けている。他の2校では先端大の教員や院生に学校を訪問してもらい、出前授業を実施している。	先端大での特別授業は、授業を行う講義室の広さの関係で、小規模校に限られる。	教育指導課
①2	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなどイベントを周知・支援します。	各種イベント等の広報への掲載	広報紙に、プチコンサートin高山や先端大のオープンキャンパス情報等イベントを定期的に掲載した。		いこまの魅力創造課
①2	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなどイベントを周知・支援します。	各種イベント等の後援	学研関連施設が実施する各種イベント等を広く市民に知らせるとともに、連携事業により、地域への交流の促進を図った。		いこまの魅力創造課
①3	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関と連携し、地域交流の機会を設けます。	市施設における展示の実施	「科学に関する絵画展」における市内小学生の入賞・入選作品を市役所ロビーに展示した。		いこまの魅力創造課
①4	学研都市の建設推進に向けて、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構との連携の強化を図ります。	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構が実施する調査等への協力	けいはんな学研都市についての新たなステージにおけるあり方について、関西文化学術研究都市推進機構主催会議に参加しているほか、生駒市における学研都市の人口や企業立地の報告等の調査協力を行っている。		都市計画課
①5	リニア中央新幹線新駅の誘致活動などを行い、関西文化学術研究都市の発展を推進します。	リニア中央新幹線新駅(中間駅)誘致事業	高山サイエンスフェスティバルに出展し、リニアのPR活動やサポーター募集等の周知活動を行なった。 サポーター登録者数 6,210人		都市計画課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	53.2	C	指標は、目標値に近づいているが、市民の役割分担は20点を下回っている。学研都市に立地している奈良先端科学技術大学院大学や民間企業との日常的な交流機会が乏しいため、市民の関心が低いと考えられる。行政の4年間の主な取組については、各項目とも概ね目標を超えている。以上より、分野の進捗度を左のように判断した。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	18.6		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	D
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	2	農業の振興
基本施策	1	農業
4年後のまち	①	市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。
	②	地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。	回答				設問② 地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。	回答			
	件数	比率	得点評価			件数	比率	得点評価	
そう思う	19	3.6%	5.6%	5.6	そう思う	22	4.3%	5.0%	5.0
どちらかというと思う	54	10.1%	15.8%	11.9	どちらかというと思う	126	24.4%	28.8%	21.6
どちらとも言えない	148	27.7%	43.4%	21.7	どちらとも言えない	200	38.8%	45.8%	22.9
どちらかというと思わない	78	14.6%	22.9%	5.7	どちらかというと思わない	50	9.7%	11.4%	2.9
そう思わない	42	7.9%	12.3%	0.0	そう思わない	39	7.6%	8.9%	0.0
わからない	173	32.4%			わからない	65	12.6%		
無回答	20	3.7%			無回答	14	2.7%		
総数	534	100.0%			総数	516	100.0%		
有効回答数	341		100.0%	44.9	有効回答数	437		100.0%	52.4
全設問の平均						48.6			

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	遊休農地活用事業面積(アール)	遊休農地活用事業で利用されている農地の面積。遊休農地の解消を図るため、農家以外の方の協力を得ながら、耕作面積の拡大を目指します。		H27	H27
				390	468
				指標の把握方法(数値の出所)	
担当課	経済振興課	申請による実績値			
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無:□有 □無>		
2	青年新規就農者数[累計](人)	農地の有効活用を図り、地産地消を進めるため、農家の担い手としての青年の新規就農者の数。未来の農家の担い手の青年の発掘と定着を進めます。		H27	H27
				5	8
				指標の把握方法(数値の出所)	
担当課	農業委員会事務局	農地法3条の許可			
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無:□有 □無>		
3	遊休農地の面積(アール)	現在耕作されておらず、今後も耕作される見込みのない農地の面積。遊休農地が減少しているのは主に農地の転用など社会的要因によります。遊休農地の減少は、生活環境の面で社会的に寄与するため、その減少を把握します。		H27	H27
				8,900	9,420
				指標の把握方法(数値の出所)	
担当課	経済振興課	水稻生産実施計画書			
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無:□有 □無>		

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	地場農産物に関心を持ち、購入している。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	91	17.0%	17.9%
	取り組んでいる	145	27.2%	28.5%
	少し取り組んでいる	146	27.3%	28.7%
	あまり取り組んでいない	66	12.4%	13.0%
	全く取り組んでいない	60	11.2%	11.8%
	無回答	26	4.9%	
	総数	534	100.0%	
	有効回答数	508	100.0%	56.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	遊休農地の解消を図るため、市民の野菜づくりや、季節感を生かす地域活動を推進していくための相談や支援を行います。	遊休農地活用事業	農地所有者に対して、利用意向調査を行った結果に基づき、売却や貸し出し希望の農地を把握し、農地情報を公開できるよう検討をしているところである。		経済振興課
①2	遊休農地活用事業の利用者に対して、遊休農地利用開始時に草刈り、耕耘等の支援を実施します。	遊休農地活用事業	遊休農地活用事業新規利用者に対して、利用当初1回に限り、草刈及び耕耘に要する経費の支援を行った(6件)。		経済振興課
①3	新規就農者を支援するため、農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等を行います。	新規就農者支援事業	生駒市農地活用推進事業として、新規就農者に対して、生涯1度限り、上限500,000円を補助。対象は、新たに購入する農業用機械及び施設となる。また、新規就農者のための農地の斡旋及び相談業務を行った。		経済振興課 農業委員会事務局
①4	新規就農者への支援制度を拡充し、新規就農者を誘致し、農地に戻した遊休農地を貸し出します。	新規就農者への支援制度の拡充 【マニフェスト 87】	新規就農者に対する研修支援制度及び就農時耕作導入支援制度を構築中である。また、新規就農者1名が就農し、遊休農地約5.5haを新規就農者に紹介することができた。		農業委員会事務局
①5	農業基盤の整備や農地の保全等を図るため、ため池や農道、水路等の農業用施設の改修支援、有害鳥獣被害対策に努めます。	土地改良事業	地元施工行による土地改良工事についての改修支援及び施工材料の支給支援を実施した。		経済振興課
①5	農業基盤の整備や農地の保全等を図るため、ため池や農道、水路等の農業用施設の改修支援、有害鳥獣被害対策に努めます。	有害鳥獣捕獲事業	狩猟免許取得者を増やし、増加しているイノシシ被害対策のため、捕獲数の拡大をめざす。檻を計48基設置済。目標としていたイノシシの捕獲数150頭に対して、捕獲は76頭となった。		経済振興課
②1	地産地消を推進するため、市民や事業者が生産、販売、購入、消費できる機会の拡大を図ります。	地場野菜販売支援 【マニフェスト 90】	事業化に向けて検討を行った。		経済振興課
②1	地産地消を推進するため、市民や事業者が生産、販売、購入、消費できる機会の拡大を図ります。	青空市場の開催	ベルテラスでは毎月第3日曜日に農業振興協議会による野菜販売を実施した。		経済振興課
②1	地産地消を推進するため、市民や事業者が生産、販売、購入、消費できる機会の拡大を図ります。	販売促進イベント	事業化に向けて検討を行った。	販売促進の場として、青空市場に加え、軽トラックの荷台に地域特産品(農産物・加工品や工芸品・自慢の逸品など)を安価で販売し、消費者、生産者、商工農者が一体となって参画・交流を深める施策の検討が必要である。	経済振興課
②2	地産地消を推進するため、黒大豆や学校給食用食材の生産拡大、自主的運営農業者団体づくり、地域農産物の加工品化等を図ります。	黒大豆の生産拡大 【マニフェスト 86】	戦略作物として位置付けしている黒大豆の生産拡大を目指すため、面積助成及び価格助成の実施を行った。		経済振興課
②2	地産地消を推進するため、黒大豆や学校給食用食材の生産拡大、自主的運営農業者団体づくり、地域農産物の加工品化等を図ります。	学校給食事業	地産地消を推進するため、地元の野菜(玉ねぎ、大根)の生産拡大を目指すため、面積助成及び価格助成の実施を行った。		経済振興課
②3	有機栽培の啓発、減農薬の推進、エコファーマーの登録推進を図ります。	有機、減農薬推進事業	農業祭において、有機栽培の啓発ブースの設置、窓口でのチラシやパンフレットにて「環境にやさしい農業」の啓発を実施した。		経済振興課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

521 農業

②4	有機農業がもたらす循環・共生・多様性が環境を改善していく重要な役割であることを啓発します。	有機、減農薬推進事業	H27、市内農業団体において有機農業等の推進に取り組む先進地視察研修を行い、環境に負荷をかけない技術等の向上に取り組んだ。 また、農業祭において、有機栽培の啓発ブースの設置、窓口でのチラシやパンフレットにて「環境にやさしい農業」の啓発を実施した。	経済振興課
②5	自然と親しむ人づくりのため、農業体験の実施や農業者と都市住民との交流を図ります。	親子ふれあい農業体験事業	高山町と壱分町の2か所で実施。親子47組の応募があり、田植え、稲刈り、餅つき、しめ縄作り、発表会等実施した。 参加者からのアンケートからも、子どもの情操教育に大いに寄与できた。	経済振興課
②6	市独自の特産品づくりと、そのために必要な生駒ならではの農作物や果樹の栽培を支援します。	特産品化事業検討懇話会の設置 【マニフェスト 88】	生駒市の特産品化事業を検討するための関係者による懇話会開催に向けて、検討を行った。	経済振興課
②7	農業振興のための研究体制の構築や地元飲食店と農家との連携などを進めるための場づくりに取り組みます。	農業振興のための研究体制の構築及び地元飲食店と農家との連携促進の場づくり 【マニフェスト 89】	事業化に向けて検討を行った。	経済振興課
②8	食品残さの農作物の栽培への活用、学校や農業への還元などの循環システムの事業化の方針、手法について検討し、「食のバリューチェーン」の構築を目指します。	食の循環に係る事業の実施に向けた協議 【マニフェスト 91】	・環境モデル都市推進協議会において、バイオマス・農業の専門家を選任。H27は協議会を1回開催。	環境モデル都市推進課
②8	食品残さの農作物の栽培への活用、学校や農業への還元などの循環システムの事業化の方針、手法について検討し、「食のバリューチェーン」の構築を目指します。	食の循環に係る事業の実施に向けた協議 【マニフェスト 91】	環境モデル都市推進協議会において、バイオマス・農業の専門家を選任。H27は協議会を1回開催。	経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	48.6	B	指標については、一部目標値に達していない指標があるなか、市民実感度においては、2つの設問の平均が50点を切る結果となっており、状況の改善及び市民の取組意識を高めていく必要がある。市民の役割分担は50点を上回っており、一定程度取り組まれている。行政の4年間の主な取組については、各事業ごとに設定した目標水準を概ね達成していることから、各々の進捗度を左のように判断し、4年後のまちは概ね実現されていると判断した。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	56.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちは十分に実現されている B:4年後のまちは概ね実現されている C:4年後のまちはある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	



まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	3	商業・工業の振興
基本施策	1	企業立地
4年後のまち	①	自然環境と調和した良好な工業団地が形成され、職住近接の住みやすいまちになっている。
	②	工業団地内の立地環境の整備にあわせ、企業立地が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 自然環境と調和した良好な工業団地が形成され、職住近接の住みやすいまちになっている。					設問② 工業団地内の立地環境の整備にあわせ、企業立地が進んでいる。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	17	3.2%	4.4	4.4	そう思う	14	2.6%	4.1	4.1
どちらかというと思う	76	14.3%	19.8	14.9	どちらかというと思う	29	5.4%	8.5	6.4
どちらとも言えない	177	33.4%	46.2	23.1	どちらとも言えない	152	28.5%	44.6	22.3
どちらかというと思わない	66	12.5%	17.2	4.3	どちらかというと思わない	89	16.7%	26.1	6.5
そう思わない	47	8.9%	12.3	0.0	そう思わない	57	10.7%	16.7	0.0
わからない	125	23.6%			わからない	169	31.6%		
無回答	22	4.2%			無回答	24	4.5%		
総数	530	100.0%			総数	534	100.0%		
有効回答数	383		100.0%	46.7	有効回答数	341		100.0%	39.3
全設問の平均								43.0	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	補助制度活用事業所における市内新規常用雇用者数【累計】(人)	本市の企業立地施策により立地した企業において、市民を新規に雇用した人数。 この数値が増えることにより、職住近接の実現を図ります。		目指す値
				実績値
				H27
				26
				41
担当課				指標の把握方法(数値の出所)
経済振興課				操業開始報告書
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	
2	生駒市企業立地補助金制度による認定事業所数【累計】(事業所)【マニフェスト 95】	企業誘致施策の成果を表す指標である企業立地促進条例に基づく認定事業所数。 年間2件の対象事業所を目指します。		目指す値
				実績値
				H27
				12
				12
担当課				指標の把握方法(数値の出所)
経済振興課				生駒市企業立地補助金認定事業所の件数
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	企業立地に対して理解を深めている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	23	4.5%	4.6%	4.6
取り組んでいる	45	8.7%	9.1%	6.8
少し取り組んでいる	135	26.2%	27.3%	13.6
あまり取り組んでいない	144	27.9%	29.1%	7.3
全く取り組んでいない	148	28.7%	29.9%	0.0
無回答	21	4.1%		
総数	516	100.0%		
有効回答数	495		100.0%	32.4

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	生駒市地域職業相談室についての情報の提供・周知を図ります。	ふるさとハローワークの相談事業について広報等で周知	奈良労働局・生駒市ふるさとハローワークが実施する事業を広報紙とチラシで周知した。		経済振興課
①2	市内企業との連携により、市内の就職情報を提供できる環境の整備を行います。	ふるさとハローワークにおける求人情報の提供や職業相談の実施	奈良労働局・生駒市ふるさとハローワークが実施する求人情報に関するチラシを市役所で配布するなどの支援を行った。		経済振興課
②1	企業誘致に関する各施策についての情報を積極的に提供します。	ホームページ等での情報掲載	市のホームページや企業誘致パンフレット、奈良県の企業立地パンフレットにより、補助金等の優遇制度等の情報を掲載した。学研生駒テクノエリア(旧北田原工業団地)内の土地開発・不動産の売買を担う事業所が市ホームページ内のバナー広告を掲載することに対して支援した。		経済振興課
②2	既存補助制度の運用や制度の拡充など、立地企業への支援を推進します。高山第1工区についても、奈良県と連携し、企業誘致を実現します。	企業誘致支援事業【マニフェスト 95】	補助金制度を含め、経済振興課がワンストップ窓口となり、各種届出等の立地までに必要な支援を実施した。また、奈良県企業立地推進課と連携・協力し、新規の立地希望企業への訪問や連絡調整(電話でのヒアリング2件、訪問4件、立地相談3件)を行った。さらに学研推進機構、木津川市、京田辺市、精華町の企業立地担当課と連携・協力し、ビジネスフェアで誘致活動を行った。		経済振興課
②3	国や県とも連携しつつ、北田原工業団地を中心に、企業立地に必要な道路など公共施設の整備を進めます。	企業誘致関連道路整備事業【マニフェスト 66】	北田原南北線整備事業 ・工事出来高率:100%  北田原中学校線整備事業 ・用地取得は次年度へ繰越した。  道路整備を計画している箇所の整備済み延長の割合:53.1% (H28年3月)	・国の交付金の配分が少なく財源不足となり、事業の進捗に支障をきたしている。	土木課
②4	周辺環境に配慮した企業立地を進めます。	環境保全協定の締結の促進	生駒市企業立地促進補助金の事業計画の申請時もしくは、事業計画認定時に、事業者に対して、環境保全協定を結ぶよう指導した。		経済振興課
②4	周辺環境に配慮した企業立地を進めます。	環境保全協定の締結の促進	企業立地促進条例の補助対象事業認定には、環境保全協定締結が条件のため、企業の周辺環境に配慮した環境保全計画書に基づき、環境保全協定の締結に努めた。 締結件数:新規立地企業 1件(H27年6月)		環境保全課
②5	交通アクセスの高さや豊かな自然環境を背景に、就労者の生活や居住環境に恵まれた立地条件であることをPRしながら、企業や教育施設、研究施設の誘致に取り組めます。	ホームページ等による周辺環境や優遇・補助金制度のPR	市のホームページや企業誘致パンフレットに、本市の紹介、本市へのアクセス、既存企業の声などを掲載し、関係機関と連携・協力し、ビジネスフェアで広くPRした。		経済振興課



第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

531企業立地

②6	基盤整備の進捗と新たな立地企業の動向により、周辺地域との景観、環境に留意した、工業適地の確保に取り組みます。	工業適地の確保	工場立地法に基づき企業等に対して相談・指導を行った。補助金制度を含め、経済振興課がワンストップ窓口となり、各種届出等の立地までに必要な支援を実施した。	経済振興課
②6	基盤整備の進捗と新たな立地企業の動向により、周辺地域との景観、環境に留意した、工業適地の確保に取り組みます。	工業適地の確保	新規立地企業等に対し、地区計画に基づき、周辺の山並み、緑と調和するよう配慮した施設整備になるよう誘導を図っている。H27は新規1件の届出を受理するとともに、増築1件の相談に応じた。	都市計画課
②7	時代の転換を見据えた企業誘致の取組について調査、研究を進めます。	新たな企業誘致施策の検討	H26に協定書を結んだ宅建協会や、学研生駒テクノエリア(旧北田原工業団地)内の土地開発・不動産の売買を担う事業所と密に連携を取り、立地希望企業に対して迅速に情報提供できる体制を整えた。	経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	43.0	B	市民の実感度や市民の役割分担は50%を下回っているため、状況の改善および市内のより積極的なPRを行っていく必要がある。 しかしながら、行政の4年間の主な取り組みについては、各事業ごとに設定した水準を概ね達成している。 以上より、各進捗状況を左のように判断し、「4年後のまちが概ね実現されている」と判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	32.4		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	



まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	3	商業・工業の振興
基本施策	2	商工業
4年後のまち	①	魅力ある商業機能が整い、市内での消費が拡大されている。
	②	商工業者の経営が安定し、市内での企業活動が一層活発になっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	魅力ある商業機能が整い、市内での消費が拡大されている。				設問②	商工業者の経営が安定し、市内での企業活動が一層活発になっている。			
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	19	3.7%	4.2	4.2	そう思う	13	2.5%	3.5	3.5
どちらかというと思う	83	16.1%	18.5	13.9	どちらかというと思う	44	8.3%	11.8	8.8
どちらとも言えない	175	33.9%	39.0	19.5	どちらとも言えない	181	34.2%	48.5	24.3
どちらかというと思わない	120	23.3%	26.7	6.7	どちらかというと思わない	75	14.2%	20.1	5.0
そう思わない	52	10.1%	11.6	0.0	そう思わない	60	11.3%	16.1	0.0
わからない	52	10.1%			わからない	135	25.5%		
無回答	15	2.9%			無回答	22	4.2%		
総数	516	100.0%			総数	530	100.0%		
有効回答数	449		100.0%	44.3	有効回答数	373		100.0%	41.6
						全設問の平均		42.9	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	商工業振興イベント数(件)	商工業振興イベントの開催件数。商業の活性化を示す指標であり、商工業を振興するための効果的なイベントを実施し、地域の活性化を図ります。		H27	H27
担当課	経済振興課		<p>目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由</p> <p>&lt;外的要因の有無: <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無&gt;</p>	10	16
			指標の把握方法(数値の出所)	イベント実施件数	
2	起業支援融資・セミナー件数(件)	生駒市起業支援融資制度にかかる融資の件数。また、起業支援に関するセミナーの開催件数。本市の商工業の活性化の指標であり、起業を支援することで商工業の振興、地域経済の活性化、市民の満足度の増進、市財政の健全化を目指します。	<p>1. 起業支援融資件数</p> <p>2. 起業支援セミナー件数</p>	H27	H27
担当課	経済振興課		<p>目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由</p> <p>&lt;外的要因の有無: <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無&gt;</p>	4	3
			指標の把握方法(数値の出所)	生駒市中小企業融資制度の創業支援資金の申込み件数	
			指標の把握方法(数値の出所)	セミナー実施件数	

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	できる限り市内で商品を購入するようにしている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	108	20.4%	21.6%	21.6
取り組んでいる	152	28.7%	30.3%	22.8
少し取り組んでいる	134	25.3%	26.7%	13.4
あまり取り組んでいない	70	13.2%	14.0%	3.5
全く取り組んでいない	37	7.0%	7.4%	0.0
無回答	29	5.5%		
総数	530	100.0%		
有効回答数	501		100.0%	61.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	商店街の活性化やにぎわいづくりに向けた取組を支援します。	中小企業振興事業	商店街の取組に対して補助金を交付するなど、商店街や商業の活性化に向けた取組を支援した。		経済振興課
①1	商店街の活性化やにぎわいづくりに向けた取組を支援します。	観光協会、生駒市アンテナショップなど関係団体との連携	生駒駅前商店街の看板のリニューアル事業に対して補助金を交付した。生駒市アンテナショップおちやせんと連携・協力し、ショップやバルステージの運営について見直しを行った。		経済振興課
①2	地場産業である竹製品の普及・啓発や後継者育成を図るための取組を支援します。	伝統的工芸品育成補助金	奈良県高山茶釜協同組合の竹製品の普及・啓発や後継者育成を図る事業に対して補助金を交付した。		経済振興課
①2	地場産業である竹製品の普及・啓発や後継者育成を図るための取組を支援します。	特産品振興補助金	奈良県高山茶釜協同組合、奈良県農道具同業組合、奈良県編針工業協同組合の3組合の行う事業に対して補助金を交付した。（看板設置、高山茶釜感謝祭、たけのこ祭等）		経済振興課
①3	高山竹林園を拠点とし、イベントやホームページ、リーフレットなど様々な機会、媒体を通じて、高山茶釜をはじめとする本市の地場産業の周知に努めます。	お茶会と高山 竹あかりの開催	高山 竹あかりを開催し、昨年より1,470人増の3,920人の参加があり、地域振興を図ることができた。		経済振興課
②1	商工観光ビジョンを策定し、商工業の振興に関する事業を計画的に具体化していきます。	商工観光ビジョンの策定懇話会の設置	商工観光ビジョン策定業務に係る公募型プロポーザルの公告準備を行った。		経済振興課
②2	市内の工業製品などを紹介する取組を行います。	企業立地ホームページでのPR	企業立地ホームページに既存企業の声や市の紹介を掲載した。		経済振興課
②2	市内の工業製品などを紹介する取組を行います。	ビジネスフェアへの出展・参加	新価値創造展(インテックス大阪)、ナントビジネスマッチングフェア(グランフロント大阪)、学研生駒・商工まつりにおいて、市内事業所がブース出展し、工業製品などを紹介する取組を、商工会議所と連携して実施した。		経済振興課
②3	中小企業等の経営の安定化を支援するため、各種資金融資制度の活用促進や、生駒商工会議所など関係機関と連携した取組を行います。	中小企業融資	中小企業融資を実施するとともに、新しく起業者の支援を拡充するため、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定した。		経済振興課
②3	中小企業等の経営の安定化を支援するため、各種資金融資制度の活用促進や、生駒商工会議所など関係機関と連携した取組を行います。	中小企業融資制度利子補給金	中小企業者支援として、中小企業融資制度の申込者に対して、利子補給金、債務保証料補給金の交付を行い、また、内容に応じて適切に関係機関を紹介した。		経済振興課
②4	商工業振興の主体的な組織である生駒商工会議所の活動に対する支援を行います。	商工会議所補助金	商工業振興の主体的な組織である生駒商工会議所の活動に助成を実施した。		経済振興課
②5	商工会議所など関係機関と連携し、商業活性化のための協議の機会を設けます。	中心市街地活性化協議会と連携	中心市街地活性化協議会に毎回参加し、情報の共有するとともに、同協議会と連携・協力し、事業の支援を行った。		経済振興課
②6	北田原工業地区へのアクセス道路の整備を推進します。	企業誘致関連道路整備事業	北田原南北線整備事業 ・工事出来高率:100%  北田原中学校線整備事業 ・用地取得は次年度へ繰越した。  道路整備を計画している箇所の整備済み延長の割合:53.1% (H28年3月)	・国の交付金の配分が少なく財源不足となり、事業の進捗に支障をきたしている。	土木課
②7	生駒市の地域活性化を図るため起業支援を行います。	起業支援融資 【マニフェスト 96】	金融機関と連携し、起業希望者に対して制度の的確な説明や案内を実施し、3件の起業を支援した。		経済振興課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

532商工業

②7	生駒市の地域活性化を図るため起業支援を行います。	起業セミナーの開催 【マニフェスト 96】	産学官連携事業により、女性で構成された実行委員会が企画した女性を中心とした起業希望者・起業家、起業を支援する者のための講演会・交流会を実施し、211名の参加があった。		経済振興課
②7	生駒市の地域活性化を図るため起業支援を行います。	商工観光活性化提案事業支援 【マニフェスト 96】	補助金要綱の改正を行い、起業希望者に対しても対象を拡大した。		経済振興課
②8	商工会議所と連携し、商工業活性化に資するイベント等の事業を支援します。	商工観光活性化提案事業支援	生駒駅前商店街の看板のリニューアル事業に対して補助金を交付した。また、補助金要綱を見直し、イベント等を支援した。		経済振興課
②9	環境モデル住宅都市にふさわしい、省エネリフォーム等に秀でた市内工務店の育成・情報発信等による支援をします。	省エネリフォーム等に秀でた市内工務店の育成・情報発信等による支援 【マニフェスト 94】	省エネルギー技術者講習を受講した市内業者のリストをホームページ上で公開するため、受講の有無について調査を行った。	受講者数が少ないため、今後も受講するよう促していく。	建築課
②9	環境モデル住宅都市にふさわしい、省エネリフォーム等に秀でた市内工務店の育成・情報発信等による支援をします。	省エネリフォーム等に秀でた市内工務店の育成・情報発信等による支援 【マニフェスト 94】	・HEMS、エネファームなど住宅の省エネに資する補助金のリーフレットを作成し、市内不動産会社等へ配布し、情報発信を行った。		環境モデル都市推進課
②10	意欲のある女性、高齢者、学生等の起業活動を促進するため、起業支援のワンストップ窓口の設置や起業支援スペースの整備等により、起業者をハード、ソフトの両面から一体的に支援します。	創業支援事業計画の実施 【マニフェスト 97】	起業支援を拡充するため、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け、ワンストップ窓口を設置するため、関係機関と連携し、事業を推進した。		経済振興課
②11	ワークライフバランスの実現や女性の就業機会を拡大するため、テレワークの普及促進に取り組めます。	テレワークの導入支援	アールいこまもやい館の3階と4階部分において(仮称)テレワーク&インキュベーションセンターを整備するため、H29年3月からのセンター稼働を目指し、概要やスケジュールの調整を行った。		経済振興課
②11	ワークライフバランスの実現や女性の就業機会を拡大するため、テレワークの普及促進に取り組めます。	サテライトオフィスの誘致	アールいこまもやい館の3階と4階部分において(仮称)テレワーク&インキュベーションセンターを整備するため、H29年3月からのセンター稼働を目指し、概要やスケジュールの調整を行った。		経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	42.9	C	一部目標値に達していない指標があるが、行政の4年間の主な取り組みについては、各事業ごとに設定した水準を概ね達成している。 市民の実感度については、50%を下回っており、より一層の市内商工業者への支援及び市内での消費を拡大を図る必要がある。しかしながら、市民の役割分担「できる限り市内で商品を購入するようにしている」という指標は60%を越え、市内消費に関して市民の関心は高く、企業活動が活発化すれば、市内で消費を喚起しやすい環境にあるといえる。 以上より、各進捗状況を左のように判断し、「4年後のまちがある程度実現されている」と判断した。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	61.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A: 4年後のまちが十分に実現されている B: 4年後のまちが概ね実現されている C: 4年後のまちがある程度実現されている D: 4年後のまちはあまり実現されていない E: 4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	



まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	4	観光と多様な交流の促進
基本施策	1	観光・交流
4年後のまち	①	本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地など本市へ来訪者が訪れている。
	②	本市の新しい特産品やお土産等の開発・PRを進めるなど、訪れた観光客や市民の満足度が高まる取組が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地など本市へ来訪者が訪れている。	設問② 本市の新しい特産品やお土産等の開発・PRを進めるなど、訪れた観光客や市民の満足度が高まる取組が行われている。								
	回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	13	2.4%	3.4	3.4	そう思う	18	3.5%	4.1	4.1
どちらかというと思う	39	7.3%	10.2	7.6	どちらかというと思う	79	15.3%	18.1	13.6
どちらとも言えない	125	23.4%	32.6	16.3	どちらとも言えない	188	36.4%	43.0	21.5
どちらかというと思わない	113	21.2%	29.4	7.4	どちらかというと思わない	102	19.8%	23.3	5.8
そう思わない	94	17.6%	24.5	0.0	そう思わない	50	9.7%	11.4	0.0
わからない	131	24.5%			わからない	61	11.8%		
無回答	19	3.6%			無回答	18	3.5%		
総数	534	100.0%			総数	516	100.0%		
有効回答数	384		100.0%	34.6	有効回答数	437		100.0%	45.0
全設問の平均								39.8	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	観光イベントの件数(件)	生駒市及び生駒市観光協会などが主催して行ったイベントの件数。観光客誘客のためにイベントを主催及び協力して観光客の増加を目指します。		H27	H27
担当課	経済振興課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	11	11
				指標の把握方法(数値の出所)	
				課内で作成したイベント予定票参照	
2	1. 観光ボランティアガイドの案内件数(件) 2. 観光ボランティアガイドが案内した人数(人)	生駒市を訪れる観光客を観光ボランティアガイドが案内した件数及び人数で、生駒市を訪れたいニーズと機会の指標です。生駒市を訪れる機会の指標である件数と人数の増加を目指します。	<p>1. 観光ボランティアガイドの案内件数(件)</p> <p>2. 観光ボランティアガイドが案内した人数(人)</p>	H27	H27
担当課	経済振興課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由		110	200
				指標の把握方法(数値の出所)	
				観光ボランティアガイドの会の総会資料	
				目指す値	
				H27	
				実績値	
				1,500	
				1,607	
				指標の把握方法(数値の出所)	
				観光ボランティアガイドの会の総会資料	

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①3	友人・知人に生駒の魅力(観光地など)を伝えている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	48	9.0%	9.4%	9.4
取り組んでいる	81	15.2%	15.9%	11.9
少し取り組んでいる	161	30.1%	31.6%	15.8
あまり取り組んでいない	139	26.0%	27.3%	6.8
全く取り組んでいない	80	15.0%	15.7%	0.0
無回答	25	4.7%		
総数	534	100.0%		
有効回答数	509	100.0%		44.0

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	観光協会など関係団体と連携しながら、ホームページや観光ポスター、リーフレットなど様々な媒体を通じて、身近に楽しめる観光や地域資源としての魅力のPRに努めます。	ホームページ等による観光PR	観光協会・生駒商工会議所・近畿日本鉄道(株)と連携して、市をPRするポスターを年3回作成。観光ガイドブック(3ヶ国語表記)を増刷し、幅広く配布した。イベント情報について市ホームページ、ツイッターで随時PRを実施した。		経済振興課
①2	観光振興の核となる生駒市観光協会の活動に対する支援を行います。	観光協会補助金	観光協会に対し補助金を交付するとともに、本市と連携・協力して、ポスターの作成・貼付、イベントへの参加等を通じ、観光生駒のPRを実施した。		経済振興課
①3	高山 竹あかりや周辺自治体などと連携したイベント等を通じて、本市の魅力の発信と多様な交流の促進を図ります。	お茶会と高山竹あかり	「高山 竹あかり」は地場産業組合、茶道協会及び、奈良県立大学、奈良芸術短期大学などが連携し、実行委員会で開催した。		経済振興課
①4	地域資源を活かしながら、観光ニーズの変化に対応した新たな取組の研究を進めます。	新たな観光ニーズに関する研究	観光振興等を目的として自転車利用ネットワーク整備事業を実施し、関係機関、自治会等と協議の上、1.4kmを対象にサインを設置した。		経済振興課
②1	商工観光ビジョンを策定し、観光振興に関する事業を計画的に具体化していきます。	商工観光ビジョンの策定懇話会の設置	商工観光ビジョン策定業務委託の業者選定のためのプロポーザル実施準備を行った。		経済振興課
②2	観光ボランティアのPRを行います。	観光ボランティアの育成	観光協会が実施するボランティア養成講座の参加を促すため、市広報紙等でPRした。また、市広報紙や市ホームページ等を利用して、定点ガイドや企画ガイドの周知を行った。		経済振興課
②3	訪れる観光客や市民の満足度を高めるため、高山竹林園やハイキングコース、公衆トイレなどの施設の充実、維持管理に努めます。	観光施設維持管理	市内を訪れる観光客や市民が快適に使用できるよう、市内各ハイキングコースの清掃、公衆便所の清掃業務について業者委託した。		経済振興課
②4	産学官の連携推進による観光振興に努めます。	産学官連携推進事業	商工会議所、帝塚山大学、観光協会及び生駒市の4者が連携し、観光振興等に係る起業家を育成・交流を目的に、「本気の女性＋男性も集まれ！in生駒」を開催した。		経済振興課
②5	市民が行う地域や観光資源の活性化に関する活動を支援し、観光・交流の促進を図ります。	市民が行う経済活性化事業への行政による支援の拡充 【マニフェスト 81】	生駒市商工観光活性化提案事業補助金の補助対象者の範囲を拡大し、商工観光振興に係るイベントや事業などを補助金交付対象とし、商工業者や市民団体が使いやすい内容にするため、要綱改正の準備を行った。		経済振興課
②5	市民が行う地域や観光資源の活性化に関する活動を支援し、観光・交流の促進を図ります。	まんてん生駒魅力発信プロジェクト	公募市民による「いこまち宣伝部」を発足し、宣伝部の運営を行った。H27はフェイスブックチーム10人、CM制作チーム15人と協働で、市PR動画の作成やシネアド上映等により、生駒の魅力発信した。		広報広聴課 いこまの魅力創造課
②5	市民が行う地域や観光資源の活性化に関する活動を支援し、観光・交流の促進を図ります。	観光振興を図るための活動支援事業の展開 【マニフェスト 98】	アコーいこまやい館の3階と4階部分において(仮称)テレワーク&インキュベーションセンターを整備するため、H29年3月からのセンター稼働を目指し、概要やスケジュールの調整を行った。		経済振興課



5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	39.8	B	目標値を達成している指標が多いものの、市民の実感度や市民の役割分担は50%を下回っているため、状況の改善および市内外へのより積極的なPRを行っていく必要がある。 行政の4年間の主な取り組みについては、H26から生駒市観光協会が実施する「たつた揚げプロジェクト」を積極的に支援することで、本市の新たな特産品のPRを行った。また、幅広い地域からの観光客を呼び込むため、奈良県の実施する「奈良うまし夏めぐり」に旅行商品を企画、提供した。今後も、観光客を市内に呼び込むために継続した取り組みが必要である。 以上より、各進捗状況を左のように判断し、「4年後のまちが概ね実現されている」と判断した。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	44.0		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	